

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターらいふ			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		～	2026年 1月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	59	(回答者数)	54
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		～	2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保育園、幼稚園の訪問の実施ができ、より細やかな連携が取れたことは良かった。	・必要に応じて支援ノート、電話等で連携を計っているが、実際に園の様子が参観できたことは療育に生かされた。	・参観することで家庭、園との連携も含め、児童に対する共通理解がしていける。
2	・家族へのペアトレ、グループの学習会が実施できた。	・個別の相談や支援が多く、グループ全体の学習会では工夫をしないと実施できないこともあった	・ペアトレは年長児対象だったが、年中の時にやった方が効果上がるのではないかと。 ・グループ学習会は年間計画を立てて実施をしていくことも大切
3	・メディアの学習会、父親の学習会が実施できた。	・メディアは継続出来ている。 ・父親学習会の回数がもう1回位あると出席しやすい。	・家庭への学習会は全体で取り組み、継続できると成果になる

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者に年間計画の見落としや、予定が周知できていないことがあった。	・年度当初に全体にしているが、途中利用者があったりする。	・行事、学習会も必要に応じて掲示板に貼り出し、周知できるようにしていく。 ・今月の予定も貼り出していく。
2	・地域との交流、父母会の組織ができていない。	・利用者の利用状況が、週に1回という事で、アンケートにもあるが、実施の難しさがある。	・地域との関わりは、今後の課題として考えていく。
3	・第三者委員会の設立がされていない	・委員会の設置はできていない。	・第三者委員は決まっているので、日々の療育の見学、連携が取れるようにしていきたい。